

第3回

東部地区沿川まちづくり勉強会

前回のふりかえり

第2回勉強会の概要

【日時】令和4年1月14日（金）

【方法】書面開催

【出席者】地元町会・自治会・商店街振興組合の代表者 18名

【主な内容】東部地区沿川まちづくりの方向性を参考に「今ある環境を活かした沿川まちづくりのアイデア」を募集

1．共生社会の実現

2．地域のにぎわい創出

3．災害に強いまちづくり

4．公共施設・土地の有効活用

5．関連事業との整合

<東部地区沿川まちづくりの方向性>

前回のふりかえり（主なご意見）

共生社会の実現について

- 高齢者や障害者の特性を活かしたスポーツができる施設を整備してほしい
- 障害者スポーツの拠点施設ができると良い
- スポーツランドの建替えの際は、障害者の利用を考えた施設にしてほしい
- 多世代に対応した拠点整備が検討されると良い
- 沿川の施設整備の際には、誰もが安全で通りやすい通路を整備してほしい

地域のにぎわい創出について

- 多くの人たちが集うにぎわい創出を目指してほしい
- 旧江戸川沿川を桜並木通りにしてほしい
- 通年で氷上競技ができる施設ができると良い
- いろいろな氷上競技ができると良い
- 1年中たのしめるプールがあると良い
- 温水を活用した誰もが楽しめる施設だと良い

前回のふりかえり（主なご意見）

災害に強いまちづくりについて

- 江戸川小学校に防災機能を持たせてほしい
- 余熱を利用した避難所の整備をしてほしい
- 施設新設時には水害への対応を考慮すべき
- 防災機能を付帯させてほしい
- 防災倉庫を充実させてほしい
- 屋上が避難場所になると良い

公共施設・土地の有効活用について

- 河川敷にウォーキングロードができると良い
- 子どもが遊べる多目的広場があると良い
- 区民の活動の場にできると良い

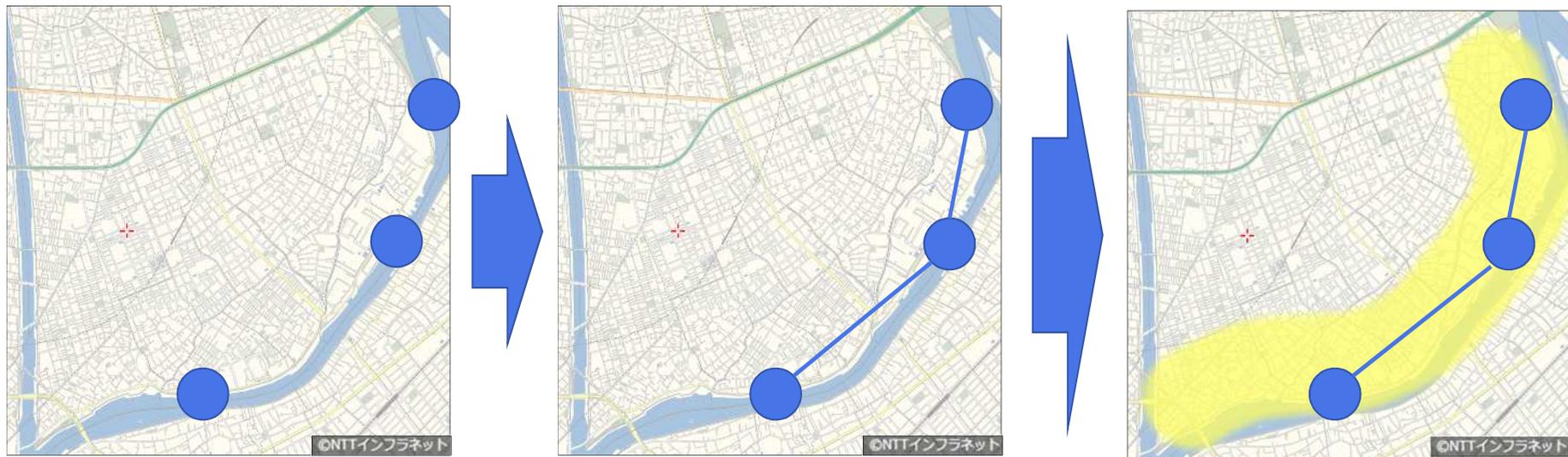
関連事業との整合について

- クリーンエネルギーの推進
- 余熱を活かした温水プール等ができると良い
- 市川市との交流を活発化してほしい

東部地区沿川まちづくり基本計画策定に向けて

前回までのみなさんのご意見をふまえて東部地区沿川まちづくりの考え方（案）を以下のように整理しました

- 持続可能な地域を目指し、人にも環境にもやさしいまちに
- 本区の大型公共スポーツ施設が点在している特長を活かし、スポーツを核とした共生社会の実現、にぎわいの創出



（イメージ）

これまで点在していた本区の施設等（点）が、スポーツをテーマにつながり（線）、その効果が地域全体に広まっていく（面）

東部地区沿川まちづくり基本計画策定に向けて

【参考】スポーツに関する東京都や江戸川区の動向

- 東京都が策定した「東京都スポーツ推進総合計画」では、スポーツを通じた「健康長寿の達成」「共生社会の実現」「地域・経済の活性化」についての政策目標を設定しています
- 東京都が策定した「TOKYOスポーツレガシービジョン」では、パラスポーツの振興という観点で「機会の充実・提供」と「場の確保による、だれでも、どこでも、いつまでもの実現」を掲げています
- 本区では「東京2020パラリンピック22競技「できる」宣言」をはじめ、パラスポーツを推進しています

東部地区沿川まちづくり基本計画策定に向けて

前回までのみなさんのご意見や、スポーツに関する都や区の動向をふまえ、東部地区沿川まちづくりの考え方（案）では以下の3つの方向性を提案することを検討しています
この3つの方向性についてご意見・お考えがあれば教えてください

【検討すべき3つの方向性】

共生社会の実現に向けたスポーツ環境の整備

本区の特徴的な大型スポーツ施設である“スポーツランド”

の魅力を活かした、スポーツランド周辺の整備

清掃工場の余熱を活用した、くつろぎの家跡地周辺の整備

今後のスケジュール

- 今年度の勉強会は今回で全て終了となります
ご参加いただき誠にありがとうございました
- 次回の勉強会は令和4年初夏頃を予定しています
- 詳細については改めてご連絡します



ともに、生きる。
江戸川区